事業者各位

標記の公募型プロポーザルに係る質問書の提出がありましたので、下記のとおり回答します。

令和7年5月23日

大津市電子契約サービス提供者 公募型プロポーザルに関する質問回答書

質問項目	質問内容・回答内容
実施要領8(1)イ (ア)企画提案書について	提出する企画提案書について、ページ数の上限はないという認識で相違ないでしょうか。
回答	お見込みのとおり。ページ数に上限はありません。
実施要領8(1)イ (ウ)価格見積書について	①見積書についても同様に、会社名等は正本のみに記載し、副本へは会社名等の事業者が特定できる事項の記載は不可、という認識で相違ないでしょうか。 ②見積書の作成日付に指定はございますでしょうか。 ③見積書について、押印は不要という認識で相違ないでしょうか。 ④見積もりの明細について「0円(他記載の項目に含む)」という記載があることに問題はないでしょうか。 ⑤次年度以降の運用経費については、見積書の備考欄等に記載する形で問題はないでしょうか。
回答	①お見込みのとおり。正本以外には会社名等の事業者が特定できる事項の記載は不可です。 ②見積書の作成日付の指定はありません。公告日以降かつ参加申込書日付以前が見積書作成日であるとの認識です。 ③見積書への押印は不要です。ただし、担当者・提出責任者およびそれぞれの連絡先電話番号の記載をしてください。 ④問題ありません。 ⑤問題ありません。令和7年度分と令和8年度分の見積額がそれぞれ明確にわかる形であれば結構です。

<p>実施要領9（8）イについて</p>	<p>プレゼンについて、会社名やサービス名等が分からない方法であれば操作のデモンストレーションも可能、という認識でよろしいでしょうか。また、デモンストレーション時にあらかじめ作成した動画を用いることは問題ないでしょうか。</p>
<p>回答</p>	<p>事業者が特定できなければ、操作のデモンストレーションも可能です。動画の使用も問題ありません。 ただし、実施要領9（4）に記載のとおり、提案説明と企画提案書は同一内容としてください。</p>
<p>実施要領別表「価格評価」について</p>	<p>①価格に評価については、絶対評価（一定の基準を下回る金額についてはすべて同一評価）、もしくは相対評価（他提案者と比較し、金額が安価な方が高評価）どちらとなりますでしょうか。 ②本件について、最低制限価格の設定はございますでしょうか。</p>
<p>回答</p>	<p>①価格は相対評価です。 ②本件に最低制限価格の設定はありません。</p>
<p>仕様書3（2）①オについて</p>	<p>①本要件に記載される「マルチデバイス」の中には、タブレットも含まれるという認識で相違ないでしょうか。 ②また、本要件について、契約相手方の想定される操作については ・契約書データの作成、承認 ・署名、契約締結 ・契約書等データの保管、閲覧、検索 が該当であり、この全てをマルチデバイスで操作が可能であること、という認識で相違ないでしょうか。</p>
<p>回答</p>	<p>①お見込みのとおり。 ②契約相手方の想定される操作は、仕様書3（2）①アを想定しています。この全てをPC、スマートフォン、タブレットで操作が可能であること（マルチデバイス対応）、という認識で相違ありません。</p>

<p>実施要領>6 参加資格> (8) 履行実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「過去3年間に国又は地方公共団体との間で本業務と同様の契約を履行し、これを2件以上履行した実績（履行中のものを含む。）を有すること。」とありますが、実績件数の定義について、下記の認識でよろしいでしょうか。 ▼実績の件数に含める <ul style="list-style-type: none"> ・同一省庁、行政委員会（人事院等 HP において公表している 2025 年 1 月 1 日現在の「国の行政機関の組織図」）に対して、1つの省庁に複数部署に導入されている場合でも「1実績」とカウントとする。 ・同一自治体（地方自治法第1条の3に定める地方公共団体）に対して複数部署に導入されている場合でも「1実績」とカウントとする。 ▼実績の件数から除外 <ul style="list-style-type: none"> ①民間企業および公益財団法人などの外郭団体（独立行政法人等）への導入 ②無償導入は除く（セット販売や契約がないものは含めない） ③有償だが実運用に利用されていない導入（有償の実証実験用途、他の商品のオプションとして提供している場合など） ④電子契約サービス以外のサービスの提供は該当しない （これらを含めると、数倍～数十倍のブレが発生します。）
<p style="text-align: center;">回答</p>	<p>お見込みのとおり。</p>
<p>実施要領>6 参加資格> (8) 履行実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①「過去3年間に国又は地方公共団体との間で本業務と同様の契約を履行し、これを2件以上履行した実績（履行中のものを含む。）を有すること。」とありますが、「様式5 実績一覧表」において、2件以上の実績の記載をもって参加資格要件を満たすという理解でよろしいでしょうか。 ②記載すべき実績として、県内の自治体の実績を優先的に記載した方がよろしいでしょうか。
<p style="text-align: center;">回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①お見込みのとおり。 ②実績について県内・県外での差はありません。

実施要領>9 審査方法>(7) 審査基準 別表	<ul style="list-style-type: none"> 審査基準（別表）において「業務実績」も実績評価がありますが、「様式5 実績一覧表」に記載の件数とは別に、提案書やプレゼンテーションにおいて評価されるという理解でよろしいでしょうか。
回答	<p>「業務実績」は「様式5 実績一覧表」に記載の件数のみで評価します。なお、「様式5 実績一覧表」に記載可能な上限件数10件を超える件数の実績報告は評価に影響しません。</p>
実施要領>8 参加申込書及び企画提案書の提出手続き>イ 企画提案にかかる提出書類	<p>「正本1部のみ余白に会社名等を記入し、副本には提案書の商号又は名称、代表者氏名などの業者が特定できる事項は記載しないこと。」とありますが、事業者を特定できない方法として、提案書の該当箇所に黒い帯等でマスキングする方式でも良いでしょうか（正本と副本の体裁を崩さないため）。</p>
回答	<p>良いです。</p>
実施要領>9 審査方法>(7) 審査基準 別表	<p>「見積金額」の評価は、上限額に対しての割合で評価でしょうか。また、評価方式は、相対評価でしょうか、絶対評価でしょうか。</p>
回答	<p>上限額に対してではなく、プロポーザル参加事業者間での相対評価です。</p>
別紙1 仕様書>(5) 導入支援にかかる要件>④	<p>①庁内で利用されている大津市例規集データベースの登載本数をご教示ください。 ②大津市様での改正原議は、改め文方式で良いでしょうか。</p>
回答	<p>①令和6年12月27日時点で1,063件です。 ②原則、改め文方式ですが、一部新旧対象表方式のものがあります。</p>